計算科学技術部会のみなさま

いつも計算科学技術部会活動にご協力いただき、ありがとうございます。部会企画担当　和田です。計算科学技術部会企画セッションテーマを募集させていただきたく、連絡させていただきました。

企画セッションテーマについてご提案・ご意見等ございましたら、和田までご連絡お願いいたします。

2/15 までに提案いただきました内容は、24 年度秋の大会および今後の企画テーマ検討に活用させていただきます。2/15 以降であっても企画テーマは随時受け付けていますので、思いつかれた際にご連絡いただけますと幸いです。

●企画提案にさいして具体的な企画構成は不要です。近年の計算科学技術に関するトピック等で詳しく聞いてみたい等の内容がございましたらご気軽に提案いただけますと幸いです。

●複数部会に所属されている方も多数いらっしゃると思います。
他部会とのコラボアイテムについても相談いただけますと幸いです。

参考までに、過去の部会懇親会で話題に上がったテーマおよび過去実施テーマを以下に記します。

＜過去に話題に上がったテーマ＞———

* 他分野における V＆V（原子力以外？）
* V＆V から実用（設計検討）への道筋
* Multi-Physics 解析
* Multi-Scale 解析
* 外部事象の数値解析
* 次世代育成とコーディング
* リアルタイムシミュレーション
* ビッグデータと AI
* Virtual Reactor
* ポスト京
* モデリング＆シミュレーション

＜過去実施テーマ＞———

会期	タイトル
2011 秋	軽水炉分野におけるモデリング＆シミュレーションの国際情勢と我が国の課題（熱流動部会と合同）
2012 春	我が国における軽水炉シビアアクシデント評価技術の今後
2012 秋	津波評価手法の現状とその適用
2013 春	モデリング･シミュレーションの高度化
2013 秋	地震動シミュレーションと構造評価手法の現状とその適用
2014 春	シミュレーションのV&Vの現状と課題
2014 秋	シミュレーション可視化技術の最前線
2015 春	シミュレーションの信頼性確保のためのガイドラインの策定
2015 秋	シビアアクシデント解析の現状と Challenge
2016 春	解析コードV&Vの現状と実施例
2016 秋	外部ハザード評価のための数値解析
2017 春	シミュレーションの信頼性確保に関する取り組みの現状と課題
2017 秋	粒子シミュレーション技術は何をもたらすのか？ ～課題と展望～
2018 春	計算科学技術分野におけるモンテカルロ（MC）法の活用～現状と将来展望～
2018 秋	人工知能技術の活用と将来展望
2019 春	自然現象に立ち向かう計算科学技術の最前線
2019 秋	不確かさの有効活用によるシミュレーションの信頼性確保
2020 春	＝＝＝＜中止＞＝＝＝
2020 秋	国際的な計算コード・データベースの活用に関する枠組みと今後の展開
2021 春	福島第一原子力発電所事故の解明･復興に資する計算科学技術
2021 秋	原子力における仮想空間の活用
2022 春	核燃料開発におけるシミュレーション技術の活用（核燃料部会合同）
2022 秋	デジタル技術における縮約モデル
2023 春	核燃料開発におけるシミュレーション技術の活用【討論編】（核燃料部会合同）
2023 秋	量子コンピュータの最新動向と原子力工学分野での応用利用の可能性
2024 春	データ同化の未来 —原子力のためのデータ同化の可能性と挑戦—